

授業科目	保育内容の理解と方法IV					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	上村 真生						
授業概要	保育実践で必要となる身体表現・音楽表現・造形表現・言語表現を総合的に発揮するための知識・技術を教授すると共に、実際に演習形式で体験する。本授業では、特に身体的表現を手掛かりに総合的な保育技術の向上を目指す。						
授業形態	対面授業			授業 方法	実習		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の身体表現に関する発達的知識、技術・手法について、説明ができる</li> <li>複数の身体表現について、実践できる</li> <li>身体的表現を伴う保育実践の展開について、保育計画を立案できる</li> <li>幼児の表現を引き出すための環境構成・保育の展開について、保育の展開ができる</li> </ul>
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児の身体表現に関する発達的知識、技術・手法について、根拠のある説明ができる</li> <li>複数の身体表現について、実践でき、新たに獲得しようとする姿がみられる</li> <li>身体的表現を伴う保育実践の展開について、保育計画を複数立案している</li> <li>幼児の表現を引き出すための環境構成・保育の展開について、その根拠が説明でき、保育計画を基に環境を通した保育の展開ができる</li> </ul>

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	50%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	30%	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21627J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

半期間で出す課題について整理しておくこと

1

## 授業計画

第1回	オリエンテーション 授業の進行方法・評価について説明する
第2回	表現技術について1 乳幼児の表現とそれを引き出す保育者の表現技術の関係性について解説する
第3回	表現技術について2 保育者の表現技術の内容、手法について説明する
第4回	身体表現の技術1 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する【操作系・投動作】

2025 年度

授業コード : 22113400

第 5 回	身体表現の技術 2 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する 【操作系・蹴動作】
第 6 回	身体表現の技術 3 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する 【移動系・マット運動】
第 7 回	身体表現の技術 4 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する 【移動系・器械体操】
第 8 回	身体表現の技術 5 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する 【平衡系・協応動作】
第 9 回	身体表現の技術 6 乳幼児の身体的発達、運動指導技法について説明する 【平衡系：体支持】
第 10 回	保育の表現技術の実際 1 子どもの表現を引き出すために必要な保育の展開についてロールプレイを通して体得する 【A グループ】
第 11 回	保育の表現技術の実際 2 子どもの表現を引き出すために必要な保育の展開についてロールプレイを通して体得する 【B グループ】
第 12 回	保育の表現技術 1 模擬保育を通して、子どもの表現活動の展開について経験し、実践的技術を身につける 【A グループ】
第 13 回	保育の表現技術 2 模擬保育を通して、子どもの表現活動の展開について経験し、実践的技術を身につける 【B グループ】
第 14 回	保育の表現技術 3 模擬保育を通して、子どもの表現活動の展開について経験し、実践的技術を身につける 【振り返り】
第 15 回	まとめ 半期間のまとめ
テキスト	プリントを配布する
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜指示する
課題に対するフィードバックの方法	各課題への評価コメントを提示する
学生へのメッセージ・コメント	幼児の運動発達について、事前に学習しておくこと 日常的な運動をしていない学生は、運動習慣をつけておくこと 授業で扱える表現技術には限りがあるので、可能な限り自分で表現の幅を広げるために、本を読んだり、実際に活動してみたりすること